

## 非塩素系塗膜剥離剤

# ハクリスト06

ハクリスト06は、環境問題になっているメチレンクロライド等の塩素系溶剤や毒性の強いフェノール、刺激性の強い蟻酸などを含有しない安全性の高い浸漬タイプの剥離剤です。常温でも十分な剥離力を発揮し、フッ素、ポリウレタン、エポキシ、ポリエステル、メラミン、アクリル系樹脂等の塗膜の剥離性に優れています。

### 用途

- 塗料ハンガー、マスキング治具、カップガンに付着した塗料の剥離・不良塗装品の剥離

### 特長

- 従来の塩素系剥離剤のような不快臭や刺激臭がなく、作業者の負担を軽減します。
- 環境上問題となるメチレンクロライド(ジクロロメタン)、フェノールやクロム酸塩を含有していません。
- 鉄、ステンレス、非鉄金属(アルミ・亜鉛メッキ等)を腐食、変色させずに塗膜を剥離できます。
- 有機溶剤中毒予防規則・毒劇物取締法に該当しない安全性の高い剥離剤です。
- 中性の為、酸性溶剤タイプのような剥離後の錆発生はほとんどありません。

### 使用方法

ハクリスト06を原液のまま処理槽に仕込み、被剥離物を浸漬して下さい。

- 槽の材質は鉄、ステンレス、及び耐溶剤性のポリエチレン、ポリプロピレン製等を使用して下さい。

浸漬後、塗膜が軟化、又は膨潤するのを待って引き上げ後、圧力水・ブラシ等を用い水洗するか拭き取って下さい。

水洗後、剥離不十分で再浸漬する場合は、被剥離物の水分を取り除いてから浸漬して下さい。

- 処理槽に水が混入すると、素材(アルミ・亜鉛メッキ等)が変色する恐れがあります。
- 水洗が不十分な場合は、再塗装の障害となりますので注意して下さい。
- 剥離された塗膜が剥離槽中に溜まりますと液の劣化を早めますので、槽に細かい目の網かごを沈めておき、適宜引き上げて剥離された塗料を除去して下さい。

### 性状

外観	無色透明液体
臭い	芳香臭
比重(15℃)	0.96
pH	7.4
引火点	53 (TAG) 第4類2石油類

#### 【荷姿】

18 ローヤル缶

FN220331 1/2

〔製造元〕

 **クソノキ化学株式会社**

本社 大阪府富田林市若松町東 1-205  
TEL 0721-26-2271 (代表)  
FAX 0721-26-2273

〔販売〕

 **菱江化学株式会社**

本社 東京都中央区日本橋本町 4-12-20 PMO 日本橋本町ビル  
TEL 03-6861-0054  
FAX 03-6861-0034

## 取扱説明書

製品名	ハクリスト06
危険性	・可燃性があるので、火気に注意する。
有害性	・眼を刺激し、炎症を起こす事がある。 皮膚から吸収され、皮膚炎や表皮の剥離を生ずる事がある。
取扱上の注意	・換気の良い場所で取扱う。 蒸気またはミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い中は吸入、目や皮膚への接触を防ぐため、 <b>保護メガネ等</b> 適切な保護具を使用する。 取扱い時には、必ず不浸透性（ <b>ポリエチレン、ポリプロピレン、シリコンゴム等の材質</b> ）の手袋を着用する。 取扱い後に手、顔等をよく洗い、うがいをする。
火災時の処置	・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 呼吸保護具等適切な保護具を状況に応じ着用する。 有効な消火剤：炭酸ガス、粉末、泡、粉末消火剤
漏出時の処置	・大量の場合、おが屑、土砂等を混ぜ、スコップ等で空容器に回収する。 少量の場合は、ウエス等で拭き取る。 河川等に排出されないように注意する。
保管上の注意	・容器は直射日光を避けて貯蔵し、密栓して、空気との接触を避ける。 酸化性物質や過酸化物質類と同一場所に保管してはならない。
応急処置	< 眼に入った場合 > 直ちに多量の水で15分以上洗眼し、直ちに眼科医の手当を受ける。 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々までよく行きわたるように洗淨する。 < 皮膚に付着した場合 > 汚染した衣服、靴等を速やかに脱ぐ。触れた部位を多量の水で洗い流す。 外観に変化が有るか、痛みが続く場合は、医師の手当を受ける。 < 吸入した場合 > 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、身体を毛布等で覆い保温して安静に保ち、医師の手当を受ける。 < 飲み込んだ場合 > 水でよく口の中を洗淨する。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。
廃棄上の注意	・廃棄する場合は焼却によって行う。少量の場合には、ウエス等で拭き取って焼却。それ以外の場合には、少量ずつ焼却処分する。
その他	・記載内容は現時点で入手できた資料、情報等に基づいて作成されています。 新しい知見によって内容が改定される事があります。 又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。